SPX | SALES PROMOTION TRANSFORMATION

決算説明資料

第70期：2025年3月期 第２四半期

株式会社平賀

東証STD 7863

2024年11月8日

SPX | SALES PROMOTION TRANSFORMATION

この国の販促を、変革します。

お客さまとともに次のステージへ進むために、
2023年、当社はミッションとビジョンを再定義しました。

2024年現在、課題が山積する小売流通業界は、
かつてないほどチャレンジングな時代に突入しています。

そんな中、当社はお客さまとの固いパートナーシップを礎に、
これまでに培ってきた知見とコンサル能力を発揮し、
印刷・販促業界の中でもオンリーワンの存在として
小売業界の活性化に貢献してゆく所存です。

そして2030年、小売の課題解決が日本一得意な会社へ。
私たちは、販促を変革し続けます。

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

アジェンダ

1 2025年3月期 第2四半期 決算概要 ---------- P4

2 2025年3月期 第2四半期 事業概況 ---------- P10

3 Appendix ---------- P19

本資料に記載されたすべての意見や予測、見通しなどは資料作成時点における入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、
様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

2025年3月期 第2四半期（4～9月）業績ハイライト①

比較的閑散期とされる上期において売上は堅調に拡大
利益は付加価値の高い施策の提案とコスト改善が進み大幅増益

売上高

4,855百万円　前年同期比 **2.4％増**

営業利益

244百万円　前年同期比 **41.8％増**

- **収益性**　営業戦略に伴い、新たなカテゴリーの開発が進み売上は堅調に拡大。　詳細P12～15
- **生産性**　継続的投資と、生産プロセス革新効果で生産効率が大幅に向上。　詳細P16
- **安定性**　人材育成への継続的投資で付加価値を高め、組織成長を促進。　詳細P17

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

2025年3月期 第2四半期（4～9月）業績ハイライト②

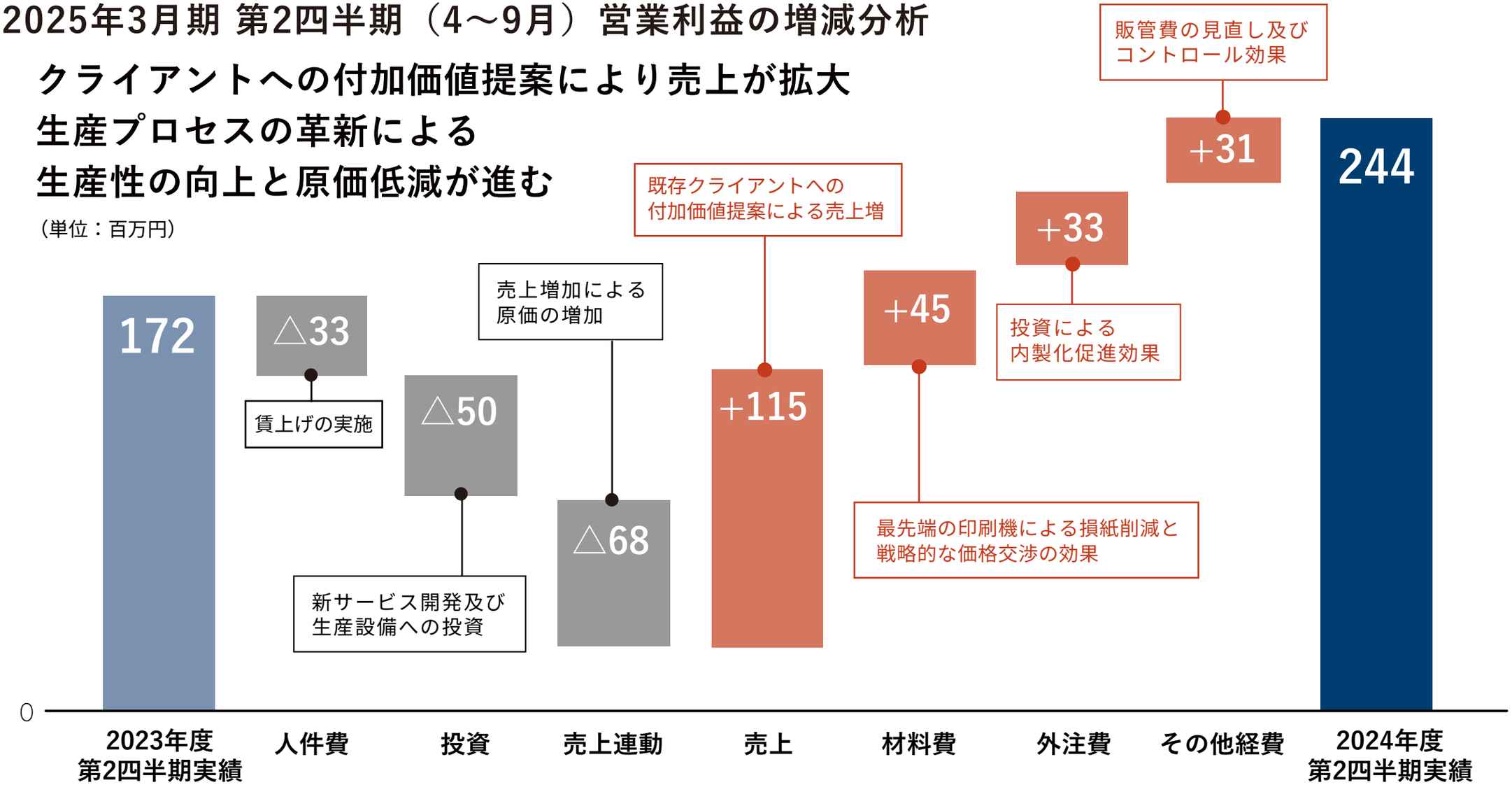
（百万円）	2024年3月期 第２四半期実績	2025年3月期 第２四半期実績	前年同期比	増減率	進捗率
売上高	4,740	4,855	＋115	2.4%	47.1%
営業利益	172	244	＋71	41.8%	48.8%
経常利益	211	280	＋68	32.3%	49.2%
純利益	143	190	＋46	32.7%	47.7%

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

2025年3月期 第2四半期（4～9月）営業利益の増減分析

クライアントへの付加価値提案により売上が拡大
生産プロセスの革新による
生産性の向上と原価低減が進む

（単位：百万円）



Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

2025年3月期 第2四半期　通期業績予想進捗

比較的閑散期となる上期で営業利益が過去5年間の最高を再更新
収益性と生産性の向上で今後も堅調な推移が見込まれるが、下期の構成が大きく
外部環境に不透明な要素も多いため、現時点での通期業績予想は据え置き

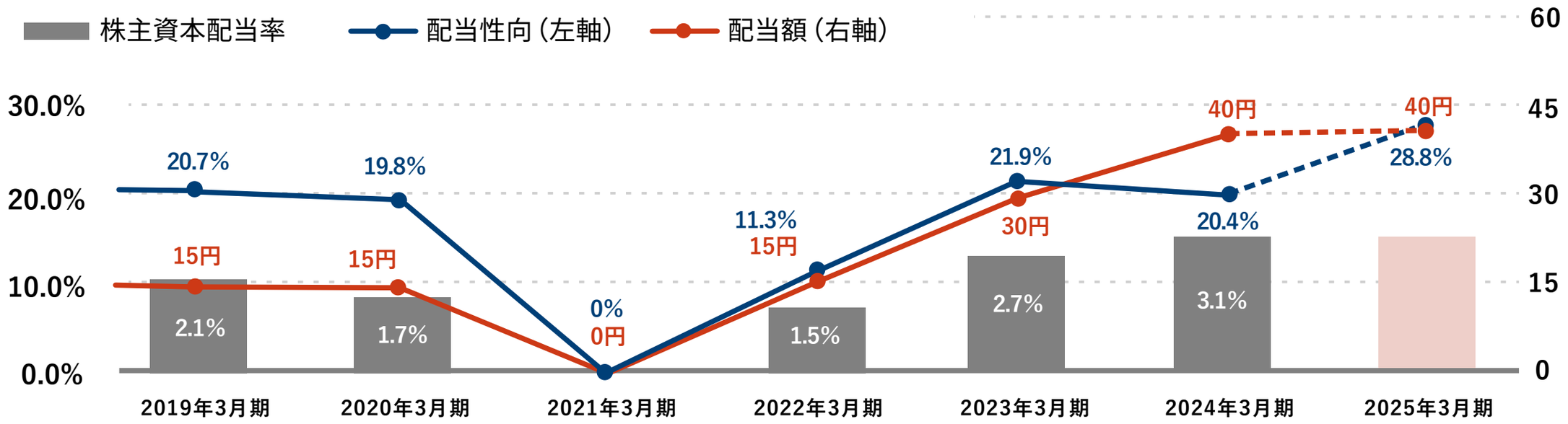
	通期		（百万円）	参考	（百万円）
	前期実績	業績予想	伸長率	２Ｑ実績	進捗率
売上高	9,954	10,300	3.5%	4,855	47.1%
営業利益	494	500	1.1%	244	48.8%
経常利益	565	570	0.8%	280	49.2%
当期純利益	565	400	△29.2%	190	47.7%

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

2025年3月期 第2四半期　配当予測

2025年3月期の配当は、当初予定通り１株当たり40円を維持（予定）

当社は、企業体質を強化し、持続可能な成長を確保するため、内部留保を充実させつつ、安定的かつ適切な配当の継続を基本方針として掲げています。配当の決定にあたっては、業績や配当性向に加え、株主資本配当率を含む複数の指標を総合的に考慮します。
特に中期経営計画SPX2027では、2027年3月期における配当性向を30%以上とする目標を設定しています。
これにより、株主の皆様への利益還元を強化すると共に、企業価値の向上を図っています。



Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

アジェンダ

1 2025年3月期 第2四半期 決算概要 P4

2 2025年3月期 第2四半期 事業概況 P10

3 Appendix P19

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

SPX2027（2025年～27年3月期）事業戦略

Vision2030「小売の課題解決が日本一得意な会社へ」の実現にむけて、
以下の事業戦略に基づく諸施策に取組む

既存事業領域の基盤強化		新規事業領域
1. 事業規模の拡大 量的成長	**2.** 稼ぐ力の向上 質的成長	**3.** 新規事業創造 への取組み

事業のシフトチェンジで、新しい風を吹かせる。
自らもマインドチェンジで、新たな成長を追求する。

4. マネジメント体制の整備	**5.** ESG 経営の実践

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

2025年3月期 第2四半期　当社を取巻く事業環境

Vision2030「小売の課題解決が日本一得意な会社へ」を取巻く事業環境

主要顧客である小売業界

・個人消費の回復と訪日外国人客の
増加により、インバウンド需要が拡大

・仕入価格の高騰、労働力不足、
物流コストの増加が経営を圧迫

・消費マインドの二極化が進行、
地方と都心部の経済格差も拡大、
これに対応する販売戦略の必要性も増大

事業領域である販促及び印刷業界

・AIなどの新技術の導入が活発化
・パーソナライズされた効果的な施策の必要性が増加
・マルチチャネルによる顧客体験の重要性が高まる
・販促コストの削減と業務効率化の需要が増大
・デジタルツールの利用の拡大に伴い、紙媒体への依存が低下
・環境規制の厳格化と環境配慮によるサステナビリティ対応の必要性増加
・原材料の価格の持続的な高騰と、印刷機械設備の老朽化が進行
・印刷業界内でパイの奪い合いによる価格競争が激化

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

2025年3月期 第２四半期【収益性】

当社の競争優位性を源泉とし、大手小売企業へ付加価値提案を積極展開

既存および新規の大手小売クライアントへ
「営業収益」×「経営効率」の
攻守両面から包括的な付加価値を提案

小売課題に徹底伴走
営業収益拡大をマーケティングに基づきご提案。課題に合わせてカスタマイズ対応。

効果検証サイクルで確実な成果を
精密な分析と実行、効果検証によるサイクルで確実な成果を導きだし顧客満足度を向上。

より強固なパートナーシップを構築
クライアントの企業価値を包括的に支援し、価値を高め、持続可能な成長を後押し。

当期間内：24年4月～9月

大手小売 クライアントより
新たなカテゴリー受注

12社

当社の3つの競争優位性

小売への知見と伴走力 × 具現化する実行力 × 強固な顧客基盤

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

2025年3月期 第２四半期　トピックス①

開発事例　新サービス/デジタル化促進

全業態の小売企業を対象に

デジタルチラシサービスを開発提供
チラシを読まない若年層への
効果的なアプローチと販促業務の効率化を実現

紙とデジタルの併用によるハイブリッド戦略

スマホ対応の最適化インターフェースを備え、SNS や YouTube、位置情報を活用したジオターゲティング広告など、マルチチャネルのマーケティングで、チラシを読まない層にも効果的にアプローチ。また、クーポンやキャンペーンへの直接アクセスが可能な外部リンク機能で販促活動を効率化します。さらに、当社独自のシステムと連携することで、納期短縮とコスト削減を実現。効果測定を行う分析ツールも提供しており、継続的な成果を伴走支援します。

ねらったターゲットにしっかり届く

小売店さまにも、お客さまにも、いいコトいっぱい。

最短1日で公開※
タイムリーだから
売場と連動可能

縦スワイプ主体の
ストレスフリーな
操作感！

※当社規定の条件がございます。詳しくはお問合せください。

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

2025年3月期 第２四半期　トピックス②

拡大事例　顧客満足度向上

小売企業及びメーカーの商品撮影を対象に

自社スタジオを拡張し、撮影のクオリティと対応力を向上
針不使用工程とAIモデルの活用で安全性と効率性も追求

受注拡大と付加価値向上への戦略

当社は１階にフォトスタジオを持つ自社ビル（第二ビル（別館）：東京都練馬区豊玉北３丁目3-10）の３階に新たにフォトスタジオスペースを整備し、商品撮影のクオリティと対応力を大幅に向上させました。さらに、家具が配置された特設フォトルームも完備し、寝具を含むライフスタイル商品の撮影に最適な環境を整えました。これにより、クライアントからの評価が向上し、新規受注の増加にも寄与しています。また、アパレル撮影では安全性を重視した針を使用しない撮影工程を導入し、月間3,000カット以上を安定供給できるようになりました。さらに、より効率化を図るため、一部のモデルをAIで生成し、納期の短縮とコスト削減も実現しました。

カメラマン
スタイリスト
常駐

高品質
短納期

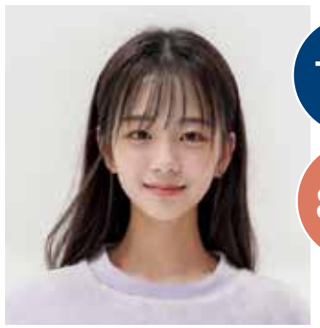
▲新たな３Ｆフォトスタジオ
高品質な撮影であらゆる要望にご対応。

◀家具付きフォトルーム。
ライフスタイル商品の撮影に最適。

▼AI生成モデルの一例。

モデル
確保不要

マネキンから



AIでモデルを生成

コスト
70％
削減

納期
80％
短縮

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

2025年3月期 第２四半期　トピックス③

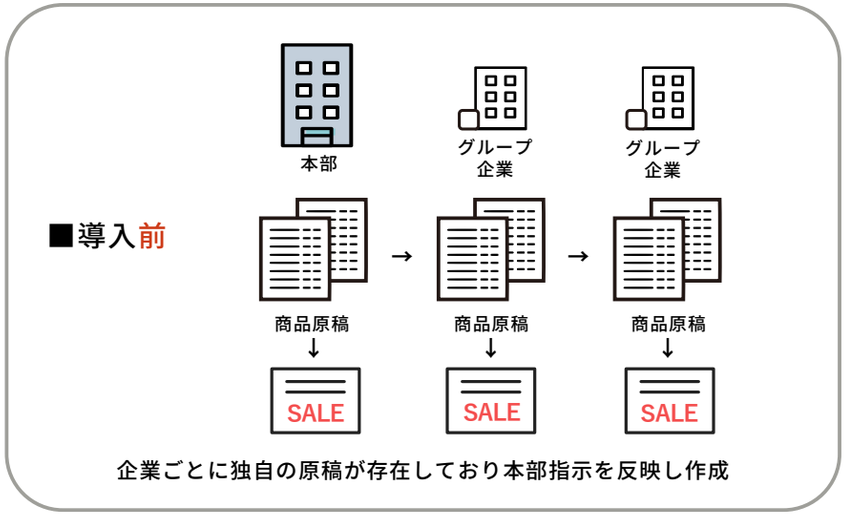
チラシ制作業務改善事例　経営効率改善

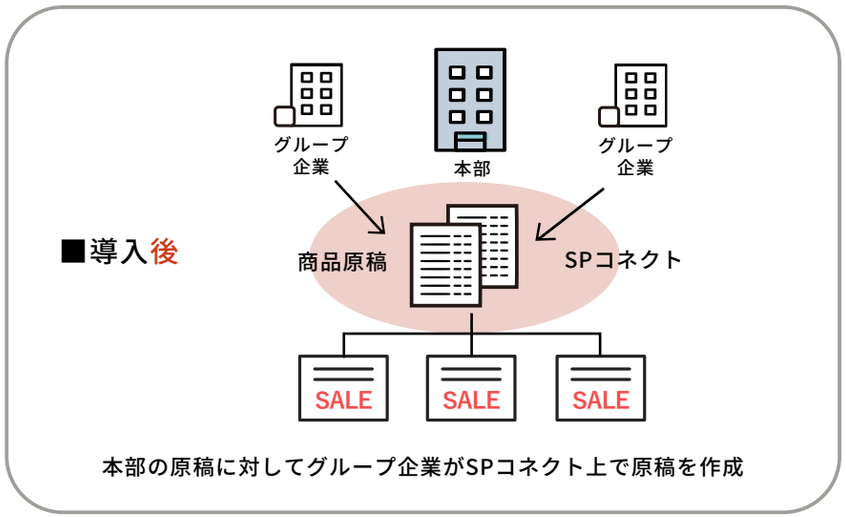
大手小売グループ企業様に

当社の出稿管理システム（SPコネクト）を導入
グループ全体からチラシ制作業務の改善を実現

商品原稿の加工・手配業務を33%削減（年間660時間）
経営効率改善へ貢献

当社の開発した出稿管理システム（SP コネクト）が、大手小売企業のグループ全体のチラシ制作業務の改善を促しました。当システム導入前は、各グループ会社がそれぞれ独立して原稿を作成していたため、一貫性と効率性に欠けていました。導入後、本部からの指示が直接反映され、商品原稿の統一性と迅速な作成が実現しました。さらに、システム操作のトレーニング及びユーザーからの継続的なフィードバックに基づいた改善の実施で、クライアント様から高い満足度を得ています。今後とも様々な非効率を解消し、経営効率改善への貢献を目指してまいります。



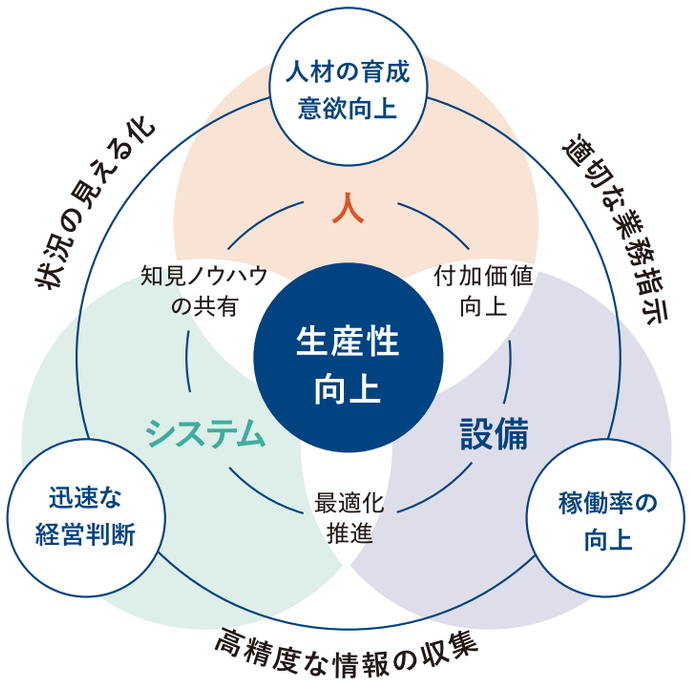


Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

2025年3月期 第２四半期【生産性】

生産プロセス全体のイノベーションが進展

- 最新鋭印刷技術導入 内製化促進で印刷コスト改善
- 新型オンデマンド機導入 印刷速度を1.5倍に
- 検品と梱包の自動化 カスタム販促物の配送を効率化
- 動線整備による空調最適化 作業効率と働く環境の改良
- 戦略的購買 用紙価格の高騰を抑制
- 新基幹システム導入 分析の迅速化とデータ視認性向上
- RPA技術 販促物制作と品質管理の自動化推進
- 太陽光パネル導入 省エネ効果で環境負荷を削減



ロス紙（損紙）の発生が
前期平均比より
15.6%抑制

印刷の内製化が
前期平均比より
6.9%推進

総印刷枚数が
前期平均比より
6.7%増

1千万円以上の
外注費
削減効果

印刷枚数増にも関わらず
総使用電力は
0.8%削減

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

2025年3月期 第２四半期【安定性】

組織強化事例

マネジメント/人材開発/ガバナンス強化

全社員を対象に

学びのプラットフォームを拡充し、
各種研修を通じてコミュニケーションを促進
人材の育成とガバナンスを強化

注目のセミナーには、
関連部署の半数以上が自主的に参加するなど盛況

社員のスキル向上と知識の習得を促進するため、ｅラーニングシステムを新たに導入。契約社員、アルバイトも含めた全従業員が、時間や場所を選ばず、効率的な学習が可能となりました。さらに、社内研修プログラムを充実させ、基礎と専門両面からの育成に力を入れることで、各部門の専門性と効率化を推進。また全拠点の従業員が参加する形で、新しい人事制度とコンプライアンス研修を実施し、コミュニケーションの活性化と総合的なガバナンスの強化を図りました。

株式会社ビズアップ総研のｅラーニング e-JINZAI のに加え、宣伝会議の WEB セミナーなど、多様な学習オプションを提供し、従業員の学びへの意欲を促進しています。

全拠点から一堂に会した本社での管理職向け研修の様子。札幌、高崎、埼玉、大阪、和歌山など各地からの参加者と共に充実した研修を実施しました。

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

アジェンダ

1 2025年3月期 第2四半期 決算概要 ---------- P4

2 2025年3月期 第2四半期 事業概況 ---------- P10

3 Appendix ---------- P19

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

Appendix 貸借対照表

（百万円）	2023年3月期 期末	2024年3月期 期末	2025年3月期 第2四半期末	前期末差	主な増減内容
流動資産	3,991	4,429	3,757	△ 671	・現預金△291、売上債権等△381
固定資産	2,594	3,555	3,332	△ 222	・投資有価証券△203
資産合計	6,586	7,984	7,090	△ 893	
流動負債	2,383	3,072	2,285	△ 786	・仕入債務等△324、未払金△425
固定負債	833	773	735	△ 37	
負債合計	3,216	3,845	3,021	△ 823	
株主資本	3,221	3,699	3,775	75	
評価・換算差額等	148	439	293	△ 145	・その他有価証券評価差額金△145
純資産	3,369	4,138	4,068	△ 69	
負債純資産合計	6,586	7,984	7,090	△ 893	
自己資本比率	51.2%	51.8%	57.4%	5.6%	

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

Appendix キャッシュ・フロー計算書

（百万円）	2024年3月期 2Q累計	2025年3月期 2Q累計	増減	当期実績の主な内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー	224	306	81	・税引前利益280 ・その他収入、支払等の増減26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 368	△ 463	△ 95	・固定資産の取得△457
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 95	△ 133	△ 38	・長期借入金返済△20、配当金支払△113
現金及び現金同等物の増減額	△ 239	△ 291	△ 51	
現金及び現金同等物の期末残高	2,075	2,154	78	
フリーキャッシュ・フロー	△ 143	△ 157	△ 13	（営業CF＋投資CF）

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.

小売流通の今日を見つめ、
明日をデザインする。

株式会社平賀は、全社一丸となって持続可能な
よりよい社会に向けて、多様な課題解決に積極的に取組んでいきます。
そのために常に新たな目標に向かって、従業員一人ひとりの働きがいを大切にしながら、
全てのステークホルダーと共に、未来に向かって挑戦しつづけます。

当資料は、株主・投資家をはじめとした様々なステークホルダーの皆さまに
株式会社平賀への理解を深めていただくことを目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。
当資料は当社が信頼できると判断した情報源や最新の情報に基づき作成したものです。当資料に記載された事項につきましては、作成時点における当社の予測しうる判断に基づくものであり、用語を含め、完全性、正確性を保証するものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。
〈お問合せ先〉株式会社平賀　経営企画部　e-mail：contact@pp-hiraga.co.jp

Copyright © HIRAGA Corporation
All Rights Reserved.